

緑のセンターだより

No.262 令和3年1月1日発行

発行元：(公財)札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

セ リ

セリ科 セリ属 *Oenanthe javanica* (Blume) DC.

セリは湿地性の常緑多年草で日本全土に自生するほか、中国北部から東南アジア、オーストラリアに及ぶ広い範囲に自生しています。春から初夏の長日下で、根元から横に這うようにランナーを伸ばし、その節から発根萌芽して、新しい株を作ります。夏には太い花茎を直立させ、高さ30～80cmになり、7～8月に白い小さな花を付けます。果実は秋に完熟し、自然落下した分果が水流に乗って分布範囲を広げていきます。秋から冬の低温短日下で、根際に葉柄の長い多数の葉（根生葉）を付けます。

セリの語源は不明ですが、一か所に競り合うように生えることから「競り（せり）」と呼ばれるようになったといわれています。栽培の歴史は古く、「延喜式」（927）にその記録があります。長い歴史の中で、それぞれの産地ごとに選抜淘汰した独自の系統のものを栽培してきましたが、今日では消滅したものもあります。

現在の栽培品種には松江の“松江むらさき”や“島根みどり”（在来の赤茎種、青茎種を1968年に命名した）、宮城県の“飯野川”などがあります。特に「島根みどり」は早生豊産品種で市場でも好評のため、現在では弘前、名取（宮城県）、京都、岡山、その他各地に広く普及しています。そのほか観賞用の「五色葉セリ」があります。

日本のセリ栽培には田セリ栽培と畑セリ栽培がありますが、田セリ栽培が主で、畑セリ栽培は下関市のみで行われており、その作付面積は全体の2～3%程度です。現在のセリの産地は宮城県、茨城県、大分県とされています。

セリは春の七草の代表で「万葉集」にも野生のセリ摘みの歌が詠まれています。これを粥にして正月7日に食べる「七草粥」の習わしは全国で行われています。冬場、雪に埋もれた北海道では、七草粥を食べる風習はないという人もいますが、開拓時代には故郷への思いも強く、それぞれの家庭で何らかの青菜の粥を食べていたのではないのでしょうか？



「芹なずな 御形はこべら
仏の座 すずなすずしろ
これぞ七草」

～春の七草の歌より～
※詠み人 所説あり

参考文献 「園芸植物大事典」：小学館、
「最新園芸植物大事典」：誠文堂新広社

左から

「スズシロ」「スズナ」「ホトケノザ」「ハコベラ」「ゴギョウ」「ナズナ」「セリ」

1月の園芸作業

ここに記載した以外の作業も沢山ありますので
ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問合せください。

緑の相談受付 10:00～12:00 13:00～16:00
★豊平公園 811-9370 月曜以外毎日
(月祝日の場合は受付、翌平日に休み)
※12/28～1/4 は年末年始のため休館します。
※平岡樹芸センター・百合が原公園は冬期間相談受付していません。

		作 業 時 期			作業内容
		上旬	中旬	下旬	
屋 外 園 芸	庭木・果樹・花	雪害からの保護			冬囲いの補強と点検、樹冠や枝の雪落としを継続し、枝折れを防止する。道路際の生垣や庭周りの小低木は、除雪や落雪による損傷に注意。枝折れなどが発生した際は、損傷部の修復を早めに行う。
	盆栽	花後管理			松竹梅の寄せ植えなどは、観賞後早めに5℃前後で管理するか、庭に出して地面まで雪を掘って鉢のまま入れて雪で覆っておく。
室 内 園 芸	鉢花	温度管理			シクラメン、アザレア、プリムラ類等は10℃～20℃の日当たりの良い窓辺に置いて管理する。鉢花は環境の変化を嫌うので、こまめな移動は避ける。
		水やり			日にちを決めず鉢の重さ確かめて与える。受け皿の残り水は捨てる。
		施 肥			シクラメン、プリムラ類、ペゴニア類など開花を続ける鉢は薄めの液肥を与える。
		病害虫防除			ウドンコ病、灰色カビ病、カイガラムシ、ハダニ、アブラムシ等の早期発見と防除
	野菜	スプラウト作りを楽しむ			マメ類、ソバ、麦、大根など。
		保存野菜点検			先月に続き保存野菜類の状態点検。取り出した後の再格納はしっかりと。
	洋ラン	温度管理			シンビジウム、デンドロビウムなど比較的低温性の株は10～20℃の明るい場所。コチョウランなどは18～25℃で管理する。
		水やり			生育最低温度が保てる場合、鉢が軽くなり植込資材乾いたら充分与える。デンドロビウムに花芽がついている場合は、控えていた水やりを少しづつ増やす。
		施 肥			成長を続ける種類は液肥を与え、シースや蕾の出ている株には与えない。
	多肉植物	温度管理			花後のシャコバサボテン・カランコエなどは、10℃位の明るい場所で管理
		水やり			アロエ、クラッスラ等は灌水を控える。冬型種(アエオニウム、リトープス等)は用土が乾いたら灌水
	観葉植物	水やり			鉢を持ちあげて軽く感じたら充分に灌水。
		施 肥			成長を続ける鉢(ポトス、オリヅルランなど)は、月1～2回夏より薄い液肥を与える。成長しない鉢には与えない。
		病害虫防除			カイガラムシ、ハダニ、アブラムシ等の発生が多くなる。早期発見、早期防除が肝要

園芸 Q&A

Q 購入したアザレアに他の鉢花と同じように水を与えていましたが、葉に艶が無くなり、触るとバラバラと葉が落ちてしまいました。何が原因でしょうか？(清田区 I.S さん)

A アザレアの根は細根の成長が旺盛で根詰まりしやすく、購入したものは1年以上植え替えられずに根詰まりしていることが多いです。その為、与えた水は鉢土にしみ込まずに流れ出てしまい、水不足になってご質問のような現象が起こります。一度、室温の水をバケツ等に張り、鉢ごと浸けて水を浸透させましょう。それでも不安なら、すぐに鉢土を崩さずに一回り大きな鉢に鉢増しすることをお勧めします。その場合でも、春には必ず植え替えましょう。

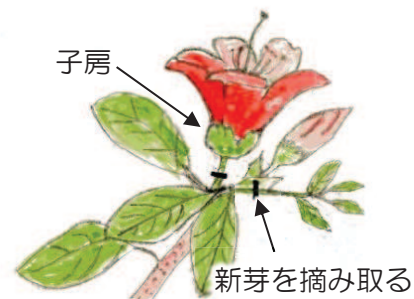
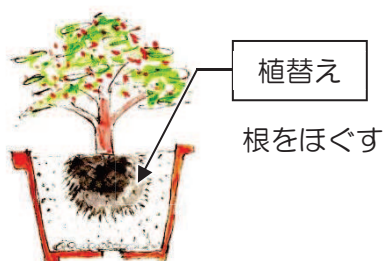
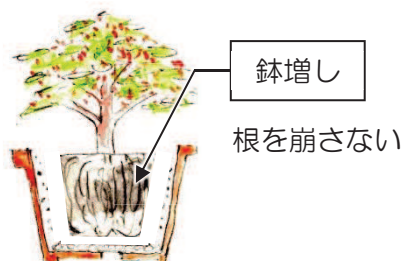
＊購入時のポイント・・・蕾は固すぎず、幹が太くて葉に艶があるもの

＊置き場所・・・明るい窓辺で昼夜に温度差がある(日中 20℃、夜間 10℃程度)

＊湿度・・・湿度 50%程度が理想。暖房の温風を避ける

＊花から摘み・・・花びらだけが落ちるので、結実させないために子房も摘み取る

＊花が終わった後は春まで低温で保管。水やりを忘れずに。



展示会・開花情報（2021年1月～2月）

冬の花、彩りを楽しむ



〒002-8082
北区百合が原公園 210
TEL 011-772-3511
JR 学園都市線
「百合が原」駅下車
徒歩7～10分



クリスマスローズ



ルクリア ピンケアナ



ウメ'玉牡丹'

寒さ厳しくなるこの季節。百合が原緑のセンターでは、色彩豊かな植物たちが、気持ちを盛り上げてくれます。

横向きの清楚な白い花を咲かせるヘルボルス ニゲル（クリスマスローズ）や、アッサムニオイザクラとも呼ばれ、その名のとおり香りも楽しめるサクラのような花形のルクリア ピンケアナ。花色や花形も華やかな冬の鉢花シクラメンや、寄せ植えにすると豪華さを増す葉ボタンのほか、この時期花を咲かせる鉢仕立てのウメなど、寒さを忘れるほどの華やかな植物たちの共演が楽しめます。

展示会情報 ・市民ラン展～市民参加のランの展示会～

1/19（火）～1/24（日）※最終日は15時まで

・福寿草と雪割草展～春を告げる雪国の妖精たち～

1/26（火）～2/14（日）



新春に咲くドンベア・ワリッキー



〒062-0905
豊平区豊平5条13丁目
TEL 011-811-6568
地下鉄東豊線
「豊平公園」駅下車
1番出口徒歩1分



緑のセンターでは、今年もたくさんのつぼみをつけたドンベア・ワリッキー。東アフリカ、マダガスカル諸島原産の常緑低木で、可愛らしいピンク色の花を咲かせます。4 cmくらいの小花が30個ほど集まってその姿は手毬のようです。蜜が多く甘い香りが漂います。

耐寒性がなく、館内では大きな鉢で育てています。1月初旬～2月中旬頃まで花を楽しむことができます。

展示会情報

・カラーリーフ展

2/2（火）～2/14（日）

・アザレア展

2/16（火）～2/28（日）

イベント情報（1～2月）



豊平公園緑のセンター

☎ (011) 811-6568

<https://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/>

【園芸教室】	開催日	時間	教材費	定員	申込開始
冬の鉢花の病害虫防除	1月19日(火)	13:30～	200	20名	中止



百合が原公園

☎ (011) 772-3511

<https://yuri-park.jp/>

【講習会】		開催日	時間	教材費	定員	申込開始
キャンドル作り	中止	1月16日(土)	14:00～	330円	20	中止
洋ランの育て方	中止	1月24日(日)	13:00～	130円	10	中止

【イベント】

冬のまちにスノーキャンドルの灯りをともそう！2021の中止について

豊平公園で毎年開催している「冬のまちにスノーキャンドルの灯りをともそう！」は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止させていただきます。

何卒ご了承くださいますようお願いいたします。

※他公園での開催については、それぞれの管理事務所までお問い合わせください。

2020年 豊平公園ベストショット

1/18

緑のセンターにて



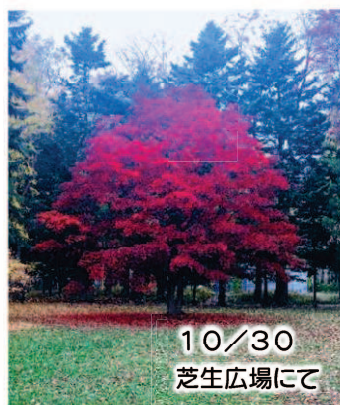
5/1

野草園にて



10/30

芝生広場にて



5/31

藤棚にて



5/15

ムスカリの小径にて



6/2

花木園にて



7/26

シラカバ林にて

